

令和5年12月14日 在宅医療研修会

# 在宅における訪問看護師の特定行為実践事例

## ～様々な医師との協働の第一歩～



医療法人社団愛康会 小松ソフィア病院

訪問看護ステーションはなはな

特定行為看護師（創傷管理関連）

寺田 優子



Sophia's colors for all patient.

# 本日の内容

- 小松ソフィア病院概要
- 訪問看護ステーションはなはな概要
- 特定行為研修受講動機
- 特定行為看護師ができること
- 院内にむけての活動
- 院外にむけての活動
- 事例① 急性期病院皮膚科医師との協働
- 事例② 当院訪問診療医師との協働
- 事例③ 内科開業医師との協働
- まとめ



# 【小松ソフィア病院】

- 昭和16年 小松駅前【加登医院】開業
- 平成25年【小松ソフィア病院】として新築・移転スタート
- 交通アクセス イオンモール新小松のお向かい
- 一般病床数 48床（うち地域包括ケア病床43床）
- 地域連携部門の充実



新たな



未病/予防～医療～介護/看取りまで  
地域の方の生きるをサポートしています

# 【訪問看護ステーションはなはな】

- 平成19年 旧加登病院時代に開設
- 令和5年 小松駅前→市内園町へ移転
- スタッフ構成  
名、パート1名) 看護師常勤換算7.6人  
PT4名 OT3名 ST1名 兼務事務1名
- 利用者数：91名/月平均
- 訪問件数：536件/月平均
- 在宅看取り：年間38名



# 特定行為研修の受講動機

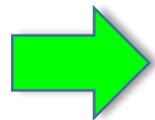
## 【 褥瘡に関して 】

- 在宅では処置物品は最小限。清潔なガーゼすらない  
専門的な皮膚科受診にまで至らないケースばかり
- 看護師による処置は行えても、除圧・栄養をはじめとする  
療養環境を整えるのは家族頼み。老々介護も多い

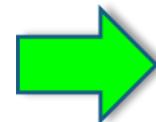


**悪化が早く難治性**

**治癒にかなりの時間を要す**



訪問看護師としての  
スキルアップが必要！



【特定行為区分】

創傷管理関連研修受講  
令和3年3月修了

# 特定行為看護師は何かができるか



(創傷管理関連)

## 創傷管理

### 【特定行為】

- ・ **デブリードマン**
- ・ **陰圧閉鎖療法**



- ・ 褥瘡予防
- ・ 栄養/排泄管理
- ・ 創アセスメント
- ・ 高度な褥瘡処置
- ・ 創状態にあった軟膏選択
- ・ 家族/スタッフへの指導など

タイムリーな  
対応力

医師業務の  
代行

重症化予防

チーム医療の  
パイプ役

フィジカル  
アセスメント

臨床推論

病態判断

的確な報告

# 活動始動！まずは院内に向けて発信開始

褥瘡委員会加入／病棟ラウンド開始

ポスター作成→掲示／院内メールでの周知

同法人医師・地域連携・ケアマネ・介護相談員へ挨拶回り

活動報告会（年1回）

当ステーション同僚への知識・技術伝達

看多機ソフィアことぶきの褥瘡管理・指導

随時褥瘡相談受付→できる限り現場へGO!



# 次は院外に向けて発信開始！

近隣皮膚科医師へのご挨拶

市内居宅介護支援事業所へチラシ配布

商業施設ソフィアテラスにチラシ設置

南加賀地区訪問看護ステーション

特定行為仲間との繋がり



FMラジオ出演

院外の活動報告会での講演

デイ・他施設へ直接処置伝授

地域の訪問看護師にむけて

褥瘡勉強会開催

# 事例①

A氏 83歳 女性

病名：左下肢皮膚潰瘍

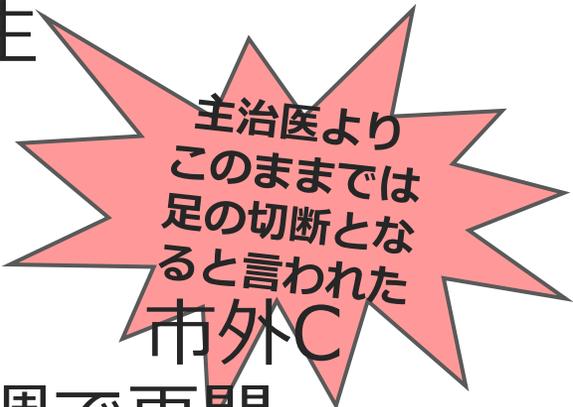
医師：急性期B病院 皮膚科医師

- 既往歴：左下腿静脈瘤 心房中隔欠損症術後  
心房細動
- 介護保険：要支援 2
- 家族背景：夫・長男(無職)・長女(精神疾患あり)  
の4人暮らし 自宅一部はゴミ屋敷化
- 生活面：家族の世話に1日中振り回されている  
な生活



# 特定行為までの経過

- 元々は精神疾患の長女への訪問看護がきっかけ
- 令和3年4月 1回/週入浴目的で訪問看護介入開始
- 令和3年9月 左下腿に掻き傷より発展した創傷発生  
→難治性潰瘍へ
- 令和4年1月 下肢潰瘍治療と血栓性静脈炎治療で  
専門病院入院 →退院後、訪問看護2回/週で再開



主治医より  
このままでは  
足の切断とな  
ると言われた  
市外C



# 介入からの創作

左下肢  
うつ滞性皮膚炎発症  
下肢浮腫急性増悪！



# 急性期B病院 皮膚科医師 との協働

## これまでの関係性

- 協働経験なし
- 訪問看護指示書は同病院の内科医師からで、報告書のやり取りもなし
- 再診日に合わせて、初顔合わせ

## 特定行為に対する認知度

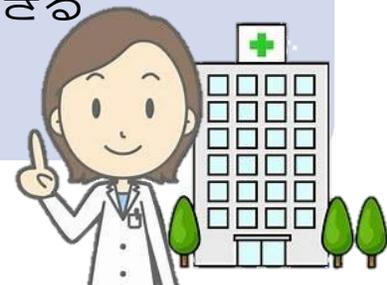
- B病院には特定行為看護師が4名在籍（創傷管理関連はいない）

## 特定行為看護師に対する思い

- こんな身近に、特定看護師がいてびっくりした
- 傷のプロ
- 心強い
- ここまで良くなると思わなかった。素晴らしい

## 特定行為看護師に 何を期待するか？

- 在宅のことは見えない部分も多いから、あなたにお任せできる
- 何かあれば、いつでも相談に乗ります



## 事例②

D氏 90歳 男性

病名：多発褥瘡

主治医：当院訪問診療 内科医師

- 既往歴：後縦靭帯骨化症 労作性狭心症HT DM 知症
- 介護保険：要介護4
- 家族背景：妻(中等度の認知症あり)と2人暮らし 戚とは絶縁状態
- 生活面：妻の介護力低い → 毎日朝・夕で多職種介入あり



低栄養状態貧血



娘・親

# 特定行為までの経過

- 元々は妻への訪問看護がきっかけ
  - 令和3年 自宅で転倒を繰り返し入院加療→以後寝たきりへ
  - 令和4年3月 高度貧血のため入院→仙骨部褥瘡発生  
退院後そのまま自宅へ持ち込み
  - 令和4年4月 左踵部褥瘡発生
  - 令和4年7月 両下腿外側褥瘡発生
- **特定行為：メンテナンスデブリードマン計4回施行**

# 在宅での特定行為実践の流れ

～主治医が当院医師の場合～

## 【 事前準備 】

- \* 翌日の観察が可能な日を選択
- \* 週末前は避ける！

## 【 当日 】

## 【 翌日～ 】

医師と共に手順書作成

訪問看護計画追加立案

利用者・家族へ説明同意を得る

実施のスケジュール調整

朝ZOOM会議にて特定行為  
実施することを事前報告  
↓  
主治医不在確認  
↓  
代理医師の確認

2 人体勢で訪問

可能であれば看護師

医師から指示された病状の  
範囲内にあることを確認

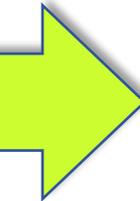
DESIGN-R®で評価

特定行為実施（前後で写真撮影）  
\* 緊急時は直ちに主治医へ連絡

主治医へ報告（写真・記録）

事務へ報告・コスト管理

医療安全委員会へ報告書提出





【デブリ1回目】



【デブリ2回目】

壊死組織減少  
牛肉色良性肉芽 ↑



【デブリ3回目】



【デブリ4回目】



介入からの創傷経過

# 仙骨部褥瘡も改善！



発症後63日目



発症後122日目



発症後178日目

# 当院 訪問診療内科医師 との協働

## これまでの関係性

- 前病院・現病院で共に働いたことあり、すでに信頼関係あり
- 同法人内で、訪問診療医と訪問看護師で日頃から協働

## 特定行為に対する認知度

- 特定行為研修参加時より応援
- 院内での特定行為活動報告会に毎年参加してくれている
- 日常的に診療業務で医師⇔特定看護師で褥瘡利用者のやりとりあり

## 特定行為看護師に対する思い

- 褥瘡をお任せできて、すごく楽だった
- あのひどい多発褥瘡状態で、本当によくやってくれた
- いつ熱が出てもおかしくない状態だった、あなた達のおかげ

## 特定行為看護師に 何を期待するか？

- 医師と特定看護師の信頼関係が一番大事
- 僕から医師仲間へ推薦してあげるから、これからも、どんどん特定行為を実践していきなさい



# 事例③

E氏 94歳 女性

病名：右踵部褥瘡

主治医：開業医（内科医師）



- 既往歴：アルツハイマー型認知症 心不全 心房細動  
HT DM 食欲不振 COVID-19感染入院加療後
- 介護保険：要介護5
- 家族背景：介護付有料老人ホーム入所中 家族の頻回な面会あり
- 生活面：褥瘡処置・除圧・栄養管理は施設サイドの協力あり

# 特定行為までの経過

- 元々は夫への訪問看護がきっかけ 夫死去後独居となり、しばらくして施設入所
- 令和4年12月 食欲不振のため、訪問点滴で介入開始
- 令和5年4月～6月 COVID-19感染にて入院加療  
右踵部褥瘡発生 退院後施設へ持ち込み
- 令和5年6月 訪問点滴・褥瘡処置にて週4回で介入再開
- 令和5年8月 食事摂取量アップにて点滴は終了 褥瘡管理は週1回介入継続



退院直後



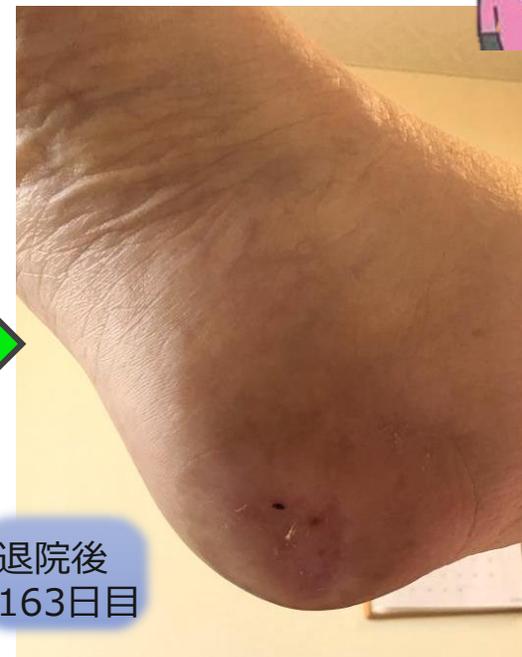
キレイに  
閉創!



介入からの創傷経過



退院後  
163日目



# 開業医 内科医師 との協働

## これまでの関係性

- 当ステーションを指名し、よく利用してくれている
- 個人的にも、以前別の利用者で軽く協働はあり

## 特定行為に対する認知度

- 作成したチラシ配布などで、なんとなく存在は知っていた
- 実際はどんなことができるのかはあまりよく知らない

## 特定行為看護師に対する思い

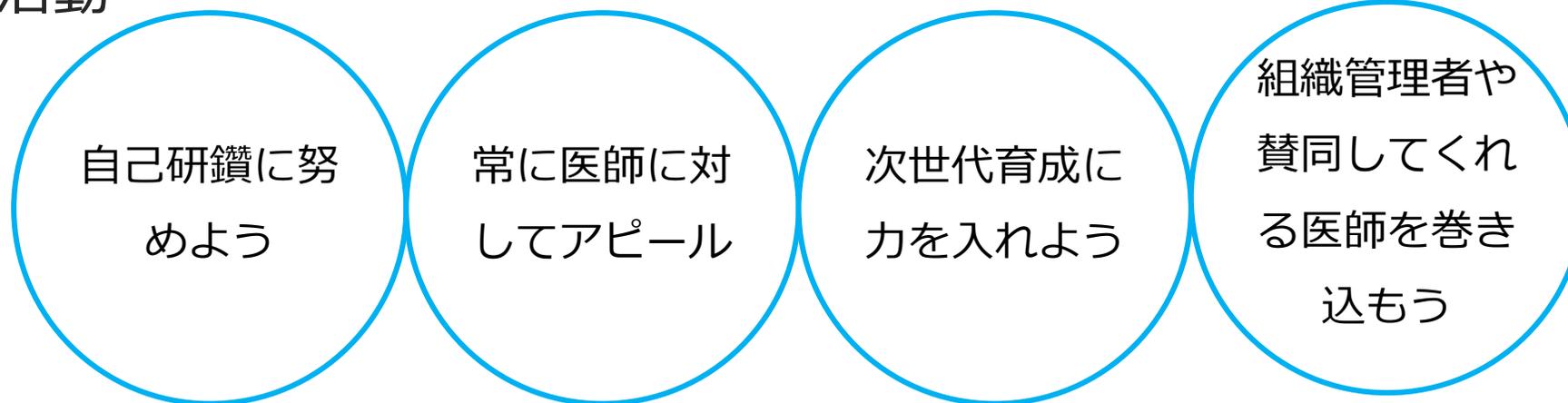
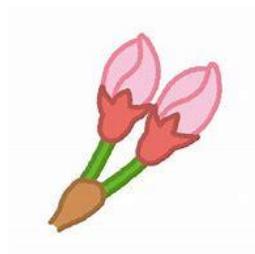
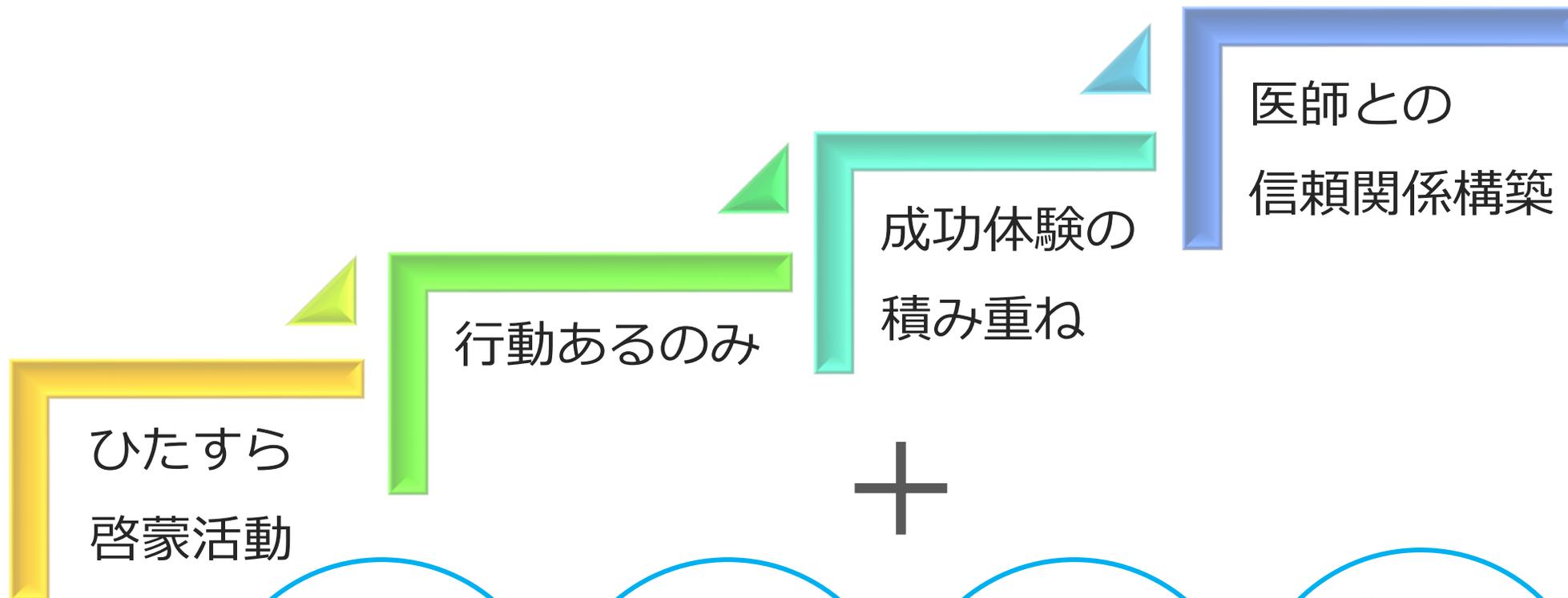
- 治らないと思っていたけど、よく治した
- 施設の看護師さんだけじゃ少し不安がある 頼りになる

## 特定行為看護師に 何を期待するか？

- 在宅での皮膚科受診は現実難しい
- 以前は、自分が往診で褥瘡処置をしていたが、今は体力的にも時間的にも難しい
- 医師の代わりに、しっかりと知識を持った特定看護師がやってくれと非常に有難い。今度からぜひお願いしたい！



# 今後 医師との協働への道のりは…



特定行為本来の目的の姿に近づくと

ご清聴ありがとうございました。

